



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第36号

2013年2月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【患者の権利と義務】

◇患者の権利

- 1.良質で公平な医療を受けられる権利があります。
- 2.人格や価値観を尊重される権利があります。
- 3.診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 4.治療法を選択できる権利があります。
- 5.病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
- 6.個人情報を守られる権利があります。
- 7.貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者の義務

- 1.ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
- 2.検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
- 3.他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
- 4.医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目 次

2. 「年頭のご挨拶」

院長 楠山 良雄

「平成24年度災害医療救護訓練に参加して」

看護師 畑上 祐希

3. 「第4回市民公開講座を開催して」

経営企画室長 武永 幸一

4. 「第5回市民公開講座開催のお知らせ」

地域医療連携室

5. 「重症心身障害児(者)病棟クリスマス会」

療育指導室 川村 康世

6. 「外来診療担当表」・「職員募集案内」

年頭のご挨拶

院長 楠山 良雄



お正月の華やかな雰囲気も過ぎ去って2月に入りましたが、まだまだ寒い日が続いています。

昨年も和歌山病院の運営にご協力いただき有難うございました。今年も和歌山病院の使命を果たすため、職員一同心を新たにしています。

昨年は当院にとって課題の多い年でした。とりわけ平均在院日数が短くなって入院患者数が少なくなったことについては、いくつかの反省すべき点があると考えています。これからの取り組みとして、地域の住民に対しては、今後も市民公開講座を継続して、新しい治療法や当院の診療内容を情報発信していきます。また、御坊医療圏の病院や診療所とは、勉強会や病院への医師の派遣・診療所や施設への訪問を通じて、より一層連携を深めていきたいと考えています。当院は和歌山県神経難病ネットワークの基幹病院とされています。

これからは、レスパイト入院など、神経難病の患者様にもっと気軽に当院を利用して頂ける仕組みを提供していきたいと考えています。

昨年、南海トラフ大地震による津波予想が見直され、美浜町沿岸は最大18mの津波に襲われる可能性があると言われました。当院の病棟建て替えは12月にやっと旧3病棟の解体工事が始まりましたが、避難対策や災害対策マニュアルの策定については、今後の大きな課題として残っています。

国立病院機構では毎年、全国の各施設で患者満足度調査を実施しています。23年の当院の調査結果は、143施設中外来部門は9位、入院部門は2位でした。これで4年連続患者様から高い評価をいただいたことに心から感謝するとともに、この結果に満足することなく、診療の質やサービスの向上に努めていきます。また、地域医療支援病院として、他病院とも協力しながら地域の医療従事者の資質の向上に努めていきたいと思えます。

今後とも当院の運営にご指導、ご協力の程宜しくお願いします。

平成24年度災害医療救護訓練に参加して

第1病棟 畑上 祐希



11月3日に東南海地震、管内最大震度7の設定で災害医療救護訓練を行いました。和歌山病院には津波が収束した後に被災者の搬送を受け入れ

るという設定で、看護師6名と事務員2名（業務班長、専門職）が一つのチームとなり病院前トリアージセンターで活動を行いました。

訓練が開始され被災者搬入が始まるとトリアージセンター内は人であふれるようになりました。看護師2名がペアとなってトリアージを行い、被災者にトリアージタグを付けると情報係によって情報収集され、その後、搬送係の方によって搬送されて行きます。しかし、搬送用ストレッチャーが足りなかったり、また搬送係は病院内全体の搬送を任されていたため、搬送係が誰もいないといった状況にもなり、トリアージセンター内は搬送を待つ人が何人もいる状態になりました。

搬送を待っている被災者は負傷されていて「痛い」「助けて」などと訴えていましたが、それらの訴えが耳に入ってくると次々とトリアージを実施して良いものか、一人に時間をかけられないと理解していても搬

送を待つ人をそのままにしてしまうことに戸惑いを感じました。しかし、搬送を待っている人は黄色タグの被災者ばかりで、黄色タグは2～3時間経過しても大きな状態の変化がないといった状態であり、多くの人命を救助する為には一人に時間をかけないということの重要性を学ぶことができました。

訓練終了後、振り返ってみると実際は車椅子で搬送できる方が何名かいたのではないかと思います。そのことがストレッチャー不足、搬送を待つ人が多くなってしまった原因の一つではないかと考えます。搬送方法を検討し判断することもトリアージ係には重要であったと感じました。

訓練では被災者の首にかけられている「症状等が記載された札」を見て判断しましたが実際に災害が起こった場合、その人の状態を観察してトリアージすることになります。状態を見て即時に判断が必要となるため、今後も継続した災害医療訓練が必要だと感じました。



第4回市民公開講座を開催して

経営企画室長 武永 幸一

第4回 国立病院機構 和歌山病院
市民公開講座
知っていれば怖くない
肺の病気のお話

日時 平成**24**年**10**月**27**日(土)
13:00~15:00(開場12:00~)

会場 御坊市民文化会館
御坊市国258番地2 ☎ 0738(23)4881

講演 「肺がんの診断と治療の実際」
小野 英也 呼吸器内科医長
「がん!!早期からの緩和ケア」
~緩和ケアって何?~
加納 昌明 副看護師長(認定看護師)
「知ってほしい抗がん剤治療のこと」
~抗がん剤なんてもうこわくない~
西川 貴子 副看護師長(認定看護師)

その他 「血圧、血管年齢、一酸化炭素濃度」等
測定コーナーを設置します。
お気軽にお立ち寄り下さい。
(12:00~12:50頃及び講演終了後) **参加無料**

※講演は小ホールで開催いたします。小ホールの入場可能
は200名程度となりますので、ご了承ください。
【主催】 独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 
<http://www.wakayama-hosp.jp/>
問い合わせは(和歌山病院 地域医療連携室) ☎ 0738(23)3921

平成24年10月27日(土)御坊市にある御坊市民文化会館にて、近隣住民を対象とした「第4回市民公開講座」を開催いたしました。

4回目の今回はテーマを「肺の病気のお話」に決定し、「肺がん」について、小野呼吸器内科医長、加納副看護師長、西川副看護師長の3名による講演を行いました。また、講演以外にも血圧測定、血管年齢測定、一酸化炭素濃度測定も実施したので、2時間程の講演でしたが参加された方々には満足いただけたのではないのでしょうか。

内輪の話ですが、今回のテーマが「肺がん」と決まった時から、一般的に聞き慣れている病気ではあるものの少し重たい印象は拭えないこともあり、沢山の方々に参加していただけるか開演直前まで心配でなりませんでしたが、和歌山病院から離れて講演を行うことへの不安も多少あったことは事実です。そんな事もあって会場選びの方も慎重になり、御坊

市役所の方にお伺いし、御坊市にお住まいの方は大抵ご存じであるとお聞きした「御坊市民文化会館」に決定しました。

外来に來られた患者さんに早くから案内を配布する等、様々な広報にも努めたことも幸いしたのか、会場が満員になる程の方々に來場いただける結果となり、スタッフ全員胸を撫で下ろしています。

多数のご参加ありがとうございました





国立病院機構 **和歌山病院**

第5回市民公開講座

心臓



のおはなし

～あなたを襲う突然の病！！～

日時 平成**25**年**3**月**2**日(土)
13:00～15:00(開場12:00～)

参加
無料

会場 **御坊商工会議所 大会議室**
(御坊市役所敷地内)
御坊市藪350番地28 (☎ 0738(22)1008)

講演 「心臓病にならないために」
診療部長 豊田康誠
「生活習慣病 予防 あなたは大丈夫??」
副看護師長 川崎 洋子

その他 「血圧、血管年齢、一酸化炭素濃度」等
測定コーナーを設置します。

(12:00～12:50頃 及び講演終了後)

【主催】独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 地域医療連携室
0738(23)3921 <http://www.wakayama-hosp.jp/>

「忘れられないおくりもの」

～和歌山病院 重症心身障害児(者)病棟 クリスマス会～

療育指導室 川村 康世

あらすじ

小さな北の国に住むサンタクロースとトナカイ、そして小さな女の子のクリスマスプレゼントを巡る物語。

冬のある日、小さな女の子がサンタクロースに手紙を書きました。その手紙には、「私の大好きなサンタさんへ、今年のクリスマスプレゼントは、角に模様があって、手に星の印があって、口元に小さなほくろがあるトナカイさんをください。」と書かれてありました。さあ、大変。手紙を受け取ったサンタクロースの相棒であるトナカイのことです。サンタとトナカイはお互いをとても大切に思っているからこそ、（離ればなれになることについて）本当の気持ちを伝えられずにいました。

そんな二人は、それぞれにすてきなプレゼントを贈ろうと考えます。また、女の子も大切なトナカイをプレゼントしてくれる、サンタクロースに心のこもったプレゼントを贈ります。そして、三人が考えたそれぞれのプレゼントを合わせると・・・。

まあなんということでしょう。楽しくて、ファンタジー溢れる物語の結末は・・・。

このように、和歌山病院のクリスマス会は、毎年心の暖まるファンタスティックストーリーとして創造性豊かにふくらませて展開されます。クリスマス会に参加されてい

る患者様やご家族の皆様をストーリーの世界に誘いながら、歌あり、笑いあり、楽器演奏ありの盛りだくさんの内容を展開していきます。会場とステージが一体化した時、サプライズは起こります。

今年のクリスマスファンタジーの結末とは、クリスマスプレゼントにトナカイをお願いした女の子ですが、実はサンタクロースのことも大好き、一緒に来てもらいたいと思っていました。それを知ったトナカイは、サンタクロースを呼びました。女の子のもとに来たサンタクロースは、女の子のクリスマスツリーに何も飾られていなかったため、トナカイと会場の皆さんにお願いしてクリスマスツリーに飾りを付けてもらいました。クリスマスツリーが完成すると辺りは暗くなりイルミネーションがともされ、幻想的な世界が広がります。女の子はとても喜んで、サンタクロースとトナカイに心のこもった手作りのマフラーをプレゼントしました。サンタクロースとトナカイがそのマフラーを伸ばしてみると、そこには「きよしこのよる」ハンドベル演奏の楽譜が隠されてありました。

サンタクロースとトナカイそして、会場の皆さんとハンドベルの演奏やクリスマスソングを歌って楽しいひと時を過ごしました。





		月	火	水	木	金	
外科	2 診	栗山	担当医	平井 (乳腺外来)	畑田	有本	
循環器内科	3 診	楠山	石井	担当医	楠山	—	
	5 診	豊田	尾鼻	—	尾鼻	豊田	
	4・6診	石井	大原(せ)	—	水越	大原(茂)	
神経内科	6 診	中西	—	河本(第2・4週)	—	河本	
呼吸器センター	初診	14 診	柳本	川端	市川	小野	平松
		15 診	—	—	—	—	—
	再診	16 診	駿田	小野	柳本	赤松	畠(第2・4週)
	専門外来(午後)	—	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 乾(第1・3週) 赤松(第2・4・5週)	睡眠外来 駿田(初診)
—		—	—	COPD外来 担当医	—		

※再診については原則、予約制にしております。(急患についてはこの限りではありません)

※受付時間 8:30~11:30 診療時間 8:30~17:00

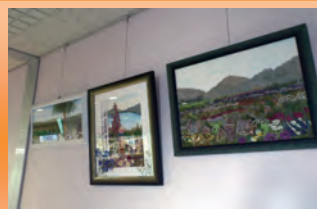
看護職員 募集中!

パートも同時募集中
経験年数に応じたサポート体制あり!
病院敷地内に宿舎(ワンルーム)、
保育所完備!



ボランティア募集!

例えば・・・外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)



押し花



フラワーアレンジメント

お問い合わせは TEL:0738-22-3256 管理課 給与係長まで

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

院長/楠山 良雄
副院長/駿田 直俊

診療部長(内科系)/豊田 康誠
診療部長(外科系)/有本 潤司
呼吸器センター長/柳本 立太

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://www.wakayama-hosp.jp/>